



人生の旅



国籍	籍種	インドネシア
		非加熱性水産加工食品製造業
実習実施者		天生水産株式会社
監理団体		公益財団法人国際労務管理財団

バイ ラムダニ
BAI RAMDANI

僕の人生の第一章は2005年10月28日にインドネシアで始まりました。両親と姉と、決して裕福ではないけど幸せな毎日でした。僕が小さい頃、母が乳癌になりました。父と姉はよく母を病院へ連れて行くので、小さい僕は一人で家に居ることが多くなりました。寂しかったけどすぐに治ると思い我慢しました。でも病気は悪化し母は手術をしました。手術の後、母は元気になりました。神様は母に回復の時間を与えてくれたんです。でもそれは数か月でした。脳に腫瘍ができ、糖尿病になり…それでも母は病気と闘いました。小さい僕は何もすることができず病気と闘う母を見ている事しかできませんでした。2017年5月8日、母の人生の旅は終わりました。母の居ない生活は悲しかったですが時間と共に少しずつ慣れていきました。

高校生になり、将来は軍隊に入ろうと思い父に話しました。ですが、当時父にはお金がありませんでした。僕は父の気持ちをよく分かっていたので、軍隊を諦めて日本で働くことにしました。母が亡くなって6年後の5月8日に日本語学校に入りました。日本語は思った以上に難しかったですが面白かったです。勉強を始めて

4か月経った頃、初めて面接を受けました。緊張しましたが結果は合格でした！僕は嬉しくて涙が出ました。父に報告するため久しぶりに家に帰った時、父の様子が変わっていたので急いで病院に連れて行きました。肝臓癌でした。もう治療はできず余命3か月と言われました。僕の国では肝臓癌は治りません。父は伝統的な治療を試したりと闘いましたが、僕はそんな父を見ている事しかできず悔しかったです。神様は父に回復の時間を少しも与えてくれませんでした。2023年11月13日、父の人生の旅は終わりました。僕は人生が破壊されたように感じ何もする気になれず日本へ行くこともやめようと思いました。でも姉がそばに居て励ましてくれました。僕にはまだ姉がいます。僕は「もう一度旅をしよう！」と僕に言いました。

2024年1月31日、僕は日本へ来ました。人生の第二章の始まりです。仕事は食品製造です。そこで学んだことは、人が健康であるためには栄養バランスや食生活が大切だということです。もし病気になっても、病気を改善したり今以上に悪化させないための大切な役割があることを知りました。僕の国では、健康と食事と病気の関係をちゃんと理解している人は少ないです。僕は食の大切さをもっと学んで母国に広め、食を通して病気で苦しんでいる人やその家族の役に立ちたいです。病気の人が減り健康な人が増えることは、母国の発展にも繋がると思っています。僕は病気を治す医者にはなれませんが、食を通して一緒に病気と闘えるということを今学んでいます。僕の旅は辛いことが多かったけど、今は神様の計画だったと思っています。だから、僕はこの日本で人生の旅を続けます。僕の第二章はまだ始まったばかりです。